

# 平成30年度 いでは文化記念館運営協議会

平成31年 2月25日（月）

9時30分

いでは文化記念館2階 会議室

## 〈 次 第 〉

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 協 議

(1) 平成30年度事業実施状況について

(2) 平成31年度事業計画（案）について

(3) その他

4. 閉 会

いでは文化記念館運営協議会委員名簿 (任期：H29. 4. 1～H31. 3. 31)

NO.	区分等	氏名	部会	所属等	推薦根拠
1		島津 慈道		羽黒山正善院 住職	学識経験 出羽三山文化 鶴岡市文化財保護審議委員
2		粕谷 典史		宿坊組合組合長	地域連携
3		後藤 昶司		出羽三山山岳宗 教研究所主幹	学識経験・古文書
4		宮野 直生		出羽三山神社 宮司 出羽三山歴史博物館 館長	出羽三山文化
5		工藤 純平		NPO 蜂子山中	地域連携

(敬称略)

事務局体制 (平成30年度)

	氏名	所属等	備考
1	佐藤 守	羽黒庁舎産業建設課課長(併)農業委員会事務局羽黒分室長	
2	前田 郷子	羽黒庁舎産業建設課観光商工主査	
3	宮本 新也	羽黒庁舎産業建設課専門員	
4	横田 淳一郎	羽黒庁舎産業建設課主事	

指定管理者 (羽黒町観光協会 平成28年4月1日から)

	氏名	所属等	備考
1	星野 博	羽黒町観光協会 会長	
2	佐藤 茂	羽黒町観光協会 事務局長	
3	吉住 弘幸	羽黒町観光協会 係長	
4	斎 安奈	羽黒町観光協会 いでは文化記念館 学芸員	
5	菅原 真一	羽黒町観光協会 主事	
6	齋藤 聖子	羽黒町観光協会 嘱託職員	
7	早坂 美津穂	羽黒町観光協会 事務員	

## 平成30年度 いでは文化記念館事業 実績

### 1. 企画展示

#### (1)「第18回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：平成30年4月19日(木)～6月25日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信すべく企画展示を行った。

入館者数：1, 338人

#### (2)「観音様と羽黒山一合祭殿再建二百年記念・覚諄別当とその時代」

展示期間：平成30年6月29日(金)～11月26日(月)

展示内容：平成30年は、庄内札所三十三霊場（庄内三十三観音霊場）において8年ぶりに『庄内三十三観音霊場 御開帳』が開催される。そこで、観音様と羽黒山の関係に焦点を当て、観音様と羽黒修験との深い関わり（羽黒山の観音信仰）や『庄内三十三観音霊場御開帳』にちなんだ観音巡礼の歴史・基礎知識などを紹介し、来館者に出羽三山の山岳信仰と観音巡礼についての理解を深めてもらった。そして平成30年は、羽黒山頂にある三神合祭殿の再建二百年の記念の年であることから羽黒山第75代別当・覚諄の業績、第50代別当・天宥との関わりに大きく焦点を当てる展示を行った。

入館者数：3, 660人

#### (3)「収蔵写真展—内藤正敏が映す出羽三山の世界—」

展示期間：平成30年11月30日(金)～平成31年4月15日(月)

展示内容：当館所蔵の内藤正敏氏による出羽三山の世界を映した写真を展示した。

写真家にして民俗学者、秋の峰入りに入峰経験のある内藤正敏氏が独特の世界観で映し出す、出羽三山の四季の様々な表情に触れる写真展を開催。

入館者数：224人（2月22日現在）

### 2. いでは文化記念館企画展示記念講演会

#### (1) 企画展開催記念講演会「羽黒山の観音信仰」

講師：島津弘海氏（羽黒山荒澤寺正善院住職）

大内典氏（宮城学院女子大学教育学部教育学科教授）ほか

○日 程／10月27日（土） 13：30～15：30

○場 所／羽黒山荒澤寺正善院 本堂・黄金堂

○参加人数／58名

○目 的／企画展示「観音様と羽黒山一合祭殿再建二百年記念・覚諄別当とその時代」の記念講演会として、島津弘海住職に、観音様と羽黒修験との深い関わり（羽黒山の観音信仰）や、また黄金堂に像の安置された覚諄別当についてお話しいただいた。

○関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・正善院・宮城学院女子大学

## (2) 企画展記念イベント

### 「三神合祭殿再建二百年記念・羽黒山伏と歩く 覚諄別当ゆかりの史跡を辿る羽黒山登拝」

○講 師(先達)／林 慈空 氏 (荒澤寺正善院山伏、荒澤寺秋の峰・闍伽先達補)  
長南 弘道 氏 (荒澤寺正善院 副住職)

○日 程／①6月 9日 (土) 9:00～12:00

②6月17日 (日) 9:00～12:00

③6月30日 (土) 9:00～12:00

○場 所／①黄金堂

②随神門～羽黒山石段参道～五重塔～南谷～蜂子神社(開山堂)～合祭殿

③蜂子神社(開山堂)～合祭殿～旧月山道～吹越籠堂～荒澤寺

○参加人数／延べ 37名

○目 的／企画展記念イベントとして、合祭殿再建二百年を記念し覚諄別当ゆかりのルートで羽黒山を登拝した。黄金堂内に祀られている覚諄僧正と、覚諄が天宥別当のために作った荒澤延命地藏大菩薩といった信仰の歴史に触れ、羽黒山の信仰の歴史について理解を深めるため開催した。合祭殿では、当時の寂光寺金堂の説明や参拝、内覧などを行った。

○関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・出羽三山神社・荒澤寺正善院

## 3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

羽黒山信仰を連綿と支えてきた門前町・手向地区。修験者が住み信仰の歴史を伝える文化財が点在する門前町の歴史にスポットをあてその魅力を探った。

### (1) 「門前町・手向を歩く一庶民の参詣道・手向古道を歩く」

○講 師／勝木 正人氏 (手向地区自治振興会会長・光林坊)

○日 程／10月13日 (土) 8:30～13:30

○参加人数／16名

○目 的／手向地区自治振興会会長による案内のもと、かつて江戸時代に庶民らが通ったとされる参詣道(手向古道)を歩いた。さらに手向宿坊街を探索し、古くからの歴史を残している寺社をはじめ、なかなか行くことがない隠れた史跡を訪ねた。昼食は宿坊・奥井坊で精進料理をいただいた。

○共 催／羽黒町観光協会

### (2) 「門前町・手向を歩く—修験者が遺した「境界」を訪ねる」

○講 師／渡部 幸 氏 (出羽三山歴史博物館学芸員)

○日 程／11月1日 (木) 8:30～13:30

○目 的／出羽三山歴史博物館学芸員の渡部幸氏による案内のもと、羽黒山の五水八石のひとつである「船石」「金剛石」といった、かつて境界としての役割を持っていた史跡を訪ねた。さらに手向宿坊街を探索し、古くからの歴史を残している寺社をはじめ、なかなか行くことができない貴重な史跡を訪ねた。昼食は大進坊で精進料理をいただいた。

○参加人数／15名

○共 催／羽黒町観光協会

#### 4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

■目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。

■講師 後藤 赴司 氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）

■会場 いでは文化記念館レクチャーホール

■日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日 ■回数 全10回

平成18年度から実施している事業で、これまで参加者の要望等も反映しながら年々講座内容を充実させてきた。平日開催に関わらず参加者が多く、出羽三山の歴史の学習も含め古文書の解読に熱心である。

23年度からは、古文書と合わせて実地研修を実施し、年々参加者の理解と興味が深まっている。参加者からは、それぞれの地域に存在する出羽三山関係の古文書についての問い合わせもあり、新たな歴史史料の発掘も期待できる。

このような参加者の意識の広がりや、重要史料の散逸や消滅の防止となり、地域の歴史と文化の継承につながっていく。

※H30年実績 講座回数 全10回、申込者24名、述べ参加者170名

#### 平成30年度その他イベント

\*第60回奥の細道羽黒山全国俳句大会 9月29日（土）・30日（日）



企画展示記念イベント



企画展示記念講演会（羽黒山正善院）



羽黒山歴史探訪①（10月13日開催）



羽黒山歴史探訪②（11月1日開催）



平成30年度庄内伝統文化魅力発信事業「出羽庄内の精神文化」シンポジウム(庄内支庁主催)

## 添付書類

- \*平成30年度
  - ・入館者実績
  - ・施設利用実績
  - ・入館料実績
  - ・企画展クイズラリー統計結果、アンケート結果

## 平成31年度 いでは文化記念館事業（案）

### ①古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 後藤赴司氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）
- 会場 いでは文化記念館
- 日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日  
※いずれかの回1回は実地研修
- 回数 全10回
- 平成30年度使用テキスト・・・出羽国羽黒山掟～出羽国羽黒山下知状文政4年(1821年)、宝前院後住之事、覚(天宥別当と大乘坊を流罪に処す文書)

平成18年度より実施している事業で、参加者の要望等も反映し講座内容を年々充実させてきた。平日の開催にもかかわらず、多くの皆さんが興味を持ち出羽三山の歴史の学習も見学することで年々参加者の理解と興味も深まっている。

参加者の地域に存在する出羽三山関係古文書の問い合わせも出てきていることから今後新たな歴史史料の発掘も期待でき、また、それぞれの地域の歴史と文化の継承への一助にもなっている。こうした参加者の意識を広げていくことで重要史料の散逸・消滅の防止にもつながる。

出羽三山の歴史・文化を継承するべく人材育成のために今後とも継続して事業を実施していくとともに、新しい世代の発掘を行う。

#### —古文書解読・歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
平成18年度（講座回数：全14回）	17名	152名
平成19年度（講座回数：全13回）	35名	254名
平成20年度（講座回数：全12回）	50名	300名
平成21年度（講座回数：全13回）	67名	373名
平成22年度（講座回数：全11回）	53名	293名
平成23年度（講座回数：全12回）	54名	325名
平成24年度（講座回数：全12回）	55名	324名
平成25年度（講座回数：全12回）	46名	227名
平成26年度（講座回数：全12回）	52名	238名
平成27年度（講座回数：全10回）	44名	271名
平成28年度（講座回数：全10回）	38名	196名
平成29年度（講座回数：全10回）	30名	196名
平成30年度（講座回数：全10回）	24名	170名

## 平成31年度 いでは文化記念館企画展示（案）

### （1）展示名「第19回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：平成31年4月18日(木)～6月24日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信し誘客の契機を目的とする。

### （2）展示名「羽黒道中膝栗毛～山伏が作った“信仰のみち”～」

展示期間：平成31年6月29日(土)～11月25日(月)

展示内容：テーマは「信仰の道」。時は江戸時代初期。戦国の世から太平の世に変わったことで、新たな収入源が必要になった羽黒山。ターゲットは一般庶民。羽黒山第50代天宥別当は、参詣者の増加を目指し、石段参道整備、女性参詣のための女人道整備、羽黒→月山→湯殿参詣ルートの設定に尽力した。なぜ「道」づくりに尽力したのか？信仰の道の先にあるもの—それは天宥別当が一生をかけて目指した修験の一大テーマパーク「羽黒山寂光寺」の完成にあった。江戸寛永寺や日光輪王寺のような、お山自体をテーマパークとしたユートピア（羽黒山＝補陀落＝寂光浄土）をこの出羽の地にと願う。天宥別当の事業、江戸時代の資料を中心に、出羽三山信仰の「道」のひみつに迫る。

### （3）展示名「収蔵資料展-古文書から見る羽黒山の神仏分離」

展示期間：平成31年11月30日(金)～平成32年4月15日(月)

展示内容：いでは収蔵資料展として、民俗学者の戸川安章氏から生前当館に寄贈戴いた資料の中から、出羽三山の神仏分離を物語る貴重な資料の数々を展示する。明治維新・神仏分離から150年が過ぎ、羽黒修験はどう変わっていったか。当時の資料から探っていく。

## 【案】企画展示記念イベント

関連イベント① 『企画展開催記念・羽黒山伏と歩く

山伏の作った“信仰のみち”』

企画展開催を記念して、出羽三山信仰にゆかりある「信仰のみち」ルートを羽黒山伏先達のもと登拝する。※6回ともマイクロバス使用

※前半(5月・6月・7月)と後半(9月・10月・11月)の計6回シリーズ。

○日時／ ①5月 9:00～12:00 ②6月 9:00～12:00 ③7月 9:00～12:00

④9月 9:00～12:00 ⑤10月 9:00～12:00 ⑥11月 9:00～12:00

○場所／前半(5月・6月・7月)：黄金堂～五重塔～合祭殿

後半(9月・10月・11月)：合祭殿～旧月山道～吹越籠堂～荒澤寺

○講師／ 長南 弘道 氏（荒澤寺正善院 副住職）ほか羽黒山伏



## 関連イベント案②企画展記念講演会

『羽黒山伏と学ぶ・江戸庶民のアイドル！於竹大日如来を知る講座』（仮）

講師：宝井琴桜（講談師）、長南慈恵氏（羽黒山荒澤寺正善院副住職）

○日時／10月 日（ ） 13：30～15：00

○場所／羽黒山荒澤寺正善院 本堂・於竹大日堂

○目的／企画展示「羽黒道中膝栗毛～山伏が作った“信仰のみち”～」の記念講演会として、女性の参詣をテーマに、お竹大日如来についての講演を行う。講談師による講談「お竹如来」の開催、そして副住職様によるお竹大日如来の絵解、お竹大日出現の背景にある江戸時代の女性観、お竹さんの話にこめられた出羽三山信仰(羽黒修験)の教えについてなどお話しいただく。

その他イベント・事業案：企画展クイズラリー開催

企画展図録販売

(フルカラー16ページ 2～300部:一部500円(税込)予定)

いではポイントカードの発行 (4月18日スタート)

## ②「羽黒山歴史探訪」

いでは文化記念館設置趣旨である「出羽三山文化の学習活動を高め、もって地域文化振興に資する」ため実際に周辺史跡を探訪し、羽黒山の深い歴史を身近なところから知る機会を作り地元の文化財の見直し、次世代の継承、保存意識の啓発を目的とする。

### (1)「天宥別当の道をたどる①—玉川寺～金剛樹院～黄金堂」(仮)

○講師／交渉中

○日程／9月 ( ) 9：00～13：30

○目的／玉川寺、赤坂薬師神社、金剛樹院(御開帳拝観)、的場小路、自坊小路を歩きます。宿坊で護摩祈祷と精進料理をいただきます。

○コース／玉川寺—マイクロバス—赤坂薬師神社—案内所—金剛樹院—的場小路—六字橋跡—自坊小路—黄金堂—昼食(宿坊 ) 解散

### (2)「天宥別当の道をたどる②—天宥堰～荒澤寺～合祭殿」(仮)

○先達／交渉中(宿坊 )

○日程／10月 ( ) 9：00～14：00

○目的／天宥別当の史跡をたどる。昼食は山頂の齋館で寂光膳を楽しむ。

○コース／天宥堰—荒澤寺—出羽三山神社・羽黒山頂—齋館(寂光祝膳) 解散

31 2 25

H30年度 いでは文化記念館 入場 人数・売上 年間集計表 (平成30年 11月 21日 現在)

個人客									
月	大人		高・大学生		小・中学生		減免 人数	合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		人数	金額
4	270	¥103,400	2	¥600	4	¥800	5	281	¥104,800
5	450	¥179,600	8	¥2,400	7	¥1,400	8	473	¥183,400
6	336	¥133,800	1	¥300	1	¥200	4	342	¥134,300
7	596	¥230,800	8	¥2,400	18	¥3,600	3	625	¥236,800
8	880	¥350,000	22	¥6,600	47	¥9,400	0	949	¥366,000
9	644	¥255,600	26	¥7,800	11	¥2,200	2	683	¥265,600
10	689	¥273,200	6	¥1,800	8	¥1,600	3	706	¥276,600
11	367	¥146,000	5	¥1,500	5	¥1,000	4	381	¥148,500
12	90	¥36,000	2	¥600	5	¥1,000	0	97	¥37,600
1	61	¥24,400	1	¥300	0	¥0	3	65	¥24,700
2	71	¥28,400	5	¥1,500	0	¥0	3	79	¥29,900
3	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
合計	4454	¥1,761,200	86	¥25,800	106	¥21,200	35	4,681	¥1,808,200

団体客									
月	大人		高・大学生		小・中学生		減免 人数	合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		人数	金額
4	0	¥0	0	¥0	0	¥0	2	2	¥0
5	0	¥0	217	¥54,250	148	¥22,200	52	417	¥76,450
6	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
7	5	¥1,750	8	¥2,000	39	¥5,850	4	56	¥9,600
8	34	¥11,900	0	¥0	0	¥0	0	34	¥11,900
9	45	¥15,750	0	¥0	0	¥0	0	45	¥15,750
10	110	¥38,500	0	¥0	0	¥0	0	110	¥38,500
11	15	¥5,250	0	¥0	0	¥0	0	15	¥5,250
12	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
1	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
2	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
3	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
合計	209	¥73,150	225	¥56,250	187	¥28,050	58	679	¥157,450

月	展示入場者合計		施設使用	
	人数	金額	人数	金額
4	283	¥104,800	108	¥3,200
5	890	¥259,850	376	¥12,800
6	342	¥134,300	590	¥6,820
7	681	¥246,400	451	¥26,700
8	983	¥377,900	234	¥47,200
9	728	¥281,350	350	¥22,240
10	816	¥315,100	261	¥13,640
11	396	¥153,750	188	¥46,380
12	97	¥37,600	22	¥0
1	65	¥24,700	5	¥0
2	79	¥29,900	30	¥0
3	0	¥0	0	¥0
合計	5360	¥1,965,650	2615	¥178,980

施設使用内訳(人数)			
有料	減免	観光協会	合計
人数	人数	人数	
30	78	77	185
130	160	17	307
162	428		590
233	218		451
234			234
218	132		350
21	240		261
170			170
		22	22
		5	5
	30		30
			0
1198	1286	121	2605

月	合計(展示入場・施設使用)		休憩利用 人数
	人数	金額	
4	391	¥108,000	1,344
5	1266	¥272,650	2,322
6	932	¥141,120	2,353
7	1132	¥273,100	2,997
8	1217	¥425,100	4,676
9	1078	¥303,590	2,821
10	1077	¥328,740	3,056
11	584	¥200,130	831
12	119	¥37,600	0
1	70	¥24,700	0
2	109	¥29,900	0
3	0	¥0	0
合計	7975	¥2,144,630	20,400

総合計		
人数	金額	月
1733	¥137,500	4
3588	¥273,390	5
3285	¥176,950	6
4129	¥347,520	7
5893	¥425,100	8
3899	¥303,590	9
4133	¥328,740	10
1300	¥162,830	11
		12
		1
		2
		3
a+b(人)	27960	¥2,155,620